

わしよく わ が し した えほん
和食・和菓子に親しむ絵本

かずくんと

しょうがつ

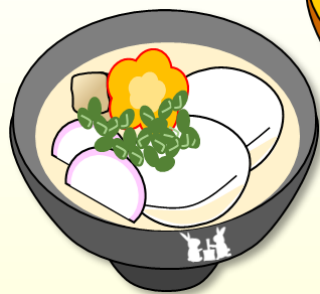
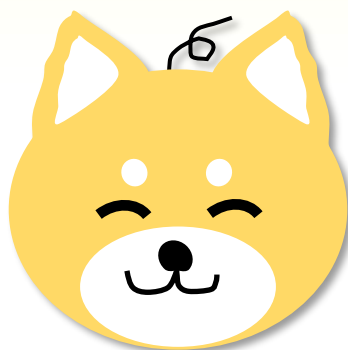
ぞうに

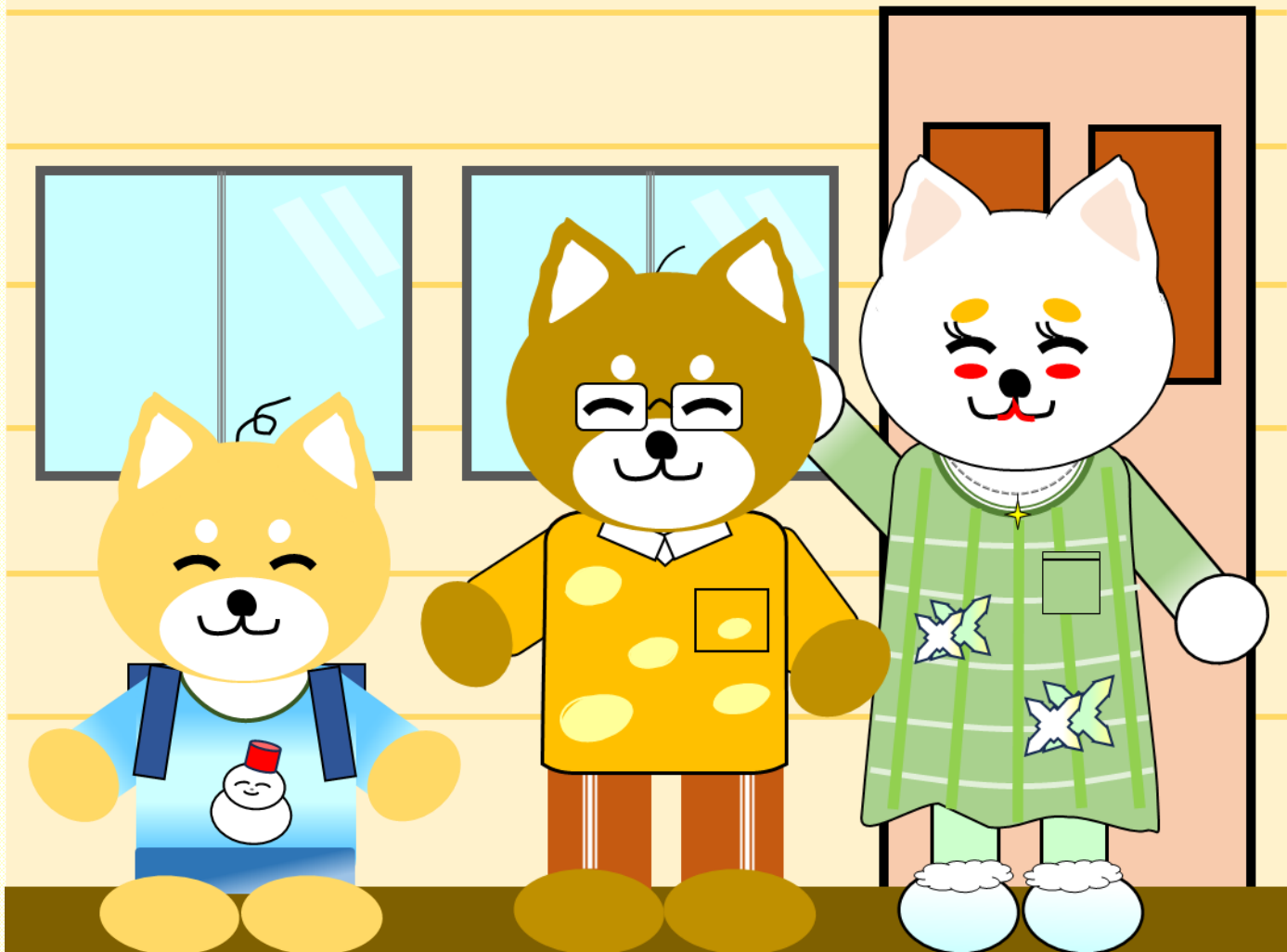
お正月のお雑煮

ちいき

ぞうに

～地域のいろいろなお雑煮～





ふゆやす お たち きょう がっこう
冬休みが終わり、かずくん達は今日から学校です。

かずくん「いってきまーす！」

とう
お父さん「いってらっしゃい」

かあ
お母さん「気をつけてね」

ふゆやす しゅくだい い がっこう む
冬休みの宿題をランドセルに入れ、学校に向かいます。



かずくん「みわちゃん、おはよう！」

みわちゃん「おはよう、かずくん！ 今日^{きょう}からまた学校^{がっこう}だね」

かずくんは途中^{とちゅう}でみわちゃんに会^あい、一緒^{いっしょ}に登校^{とうこう}しました。

かずくん「みわちゃん、冬休み^{ふゆやす}は楽し^{たの}かった？」

そう聞^きかれたみわちゃんは嬉^{うれ}しそうな顔^{かお}をしました。



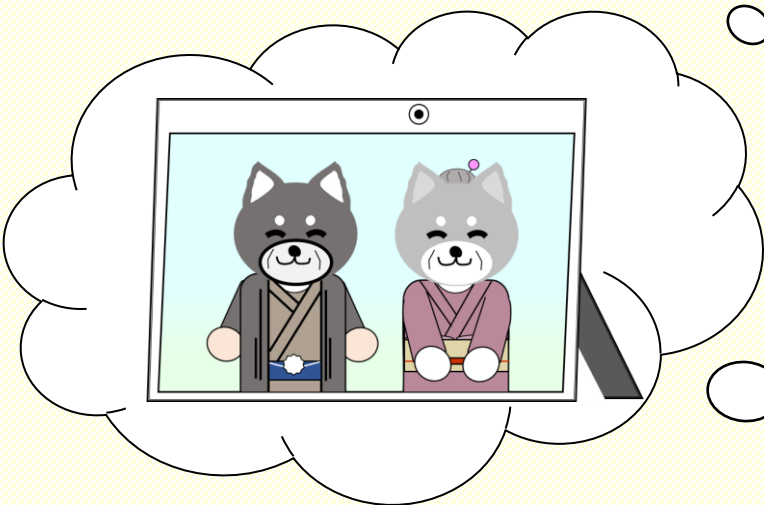
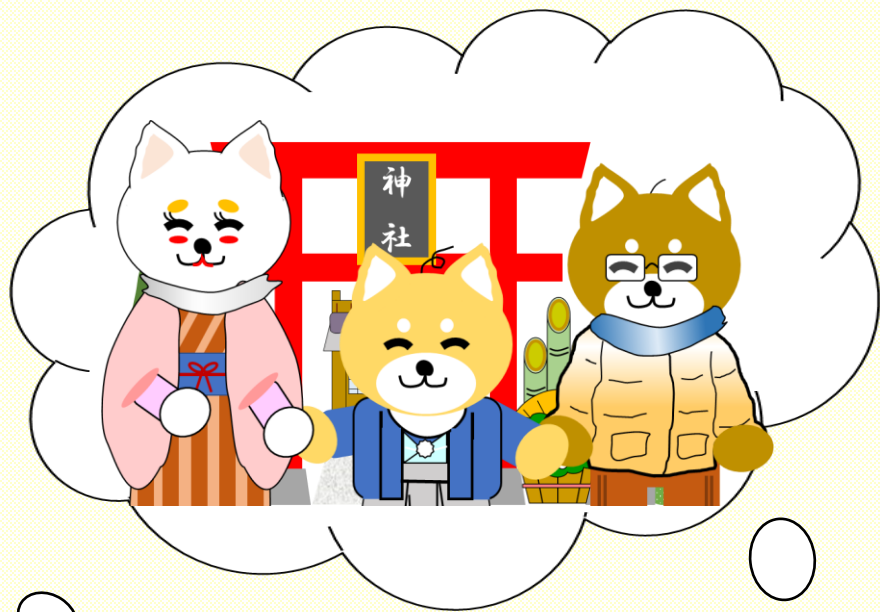
とう あそ
みわちゃん「お父さんといっぱい遊べたよ！」

いそ とう ねんまつねんし
いつもは忙しいみわちゃんのお父さんも、年末年始は

かぞく いっしょ す
家族みんなで一緒に過ごせたようです。

きもの き りょうり た
みわちゃん「みんなで着物を着ておせち料理を食べたし、

としだま
お年玉ももらったよ！かずくんはどうだった？」



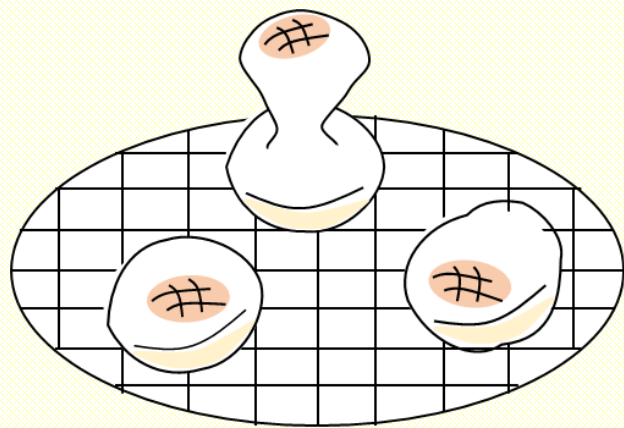
かずくん「^{とう}ボクも^{かあ}お父さん、^{はつもうで}お母さんと初詣に行ったし、

おじいちゃん、おばあちゃんにタブレットであいさつしたよ」

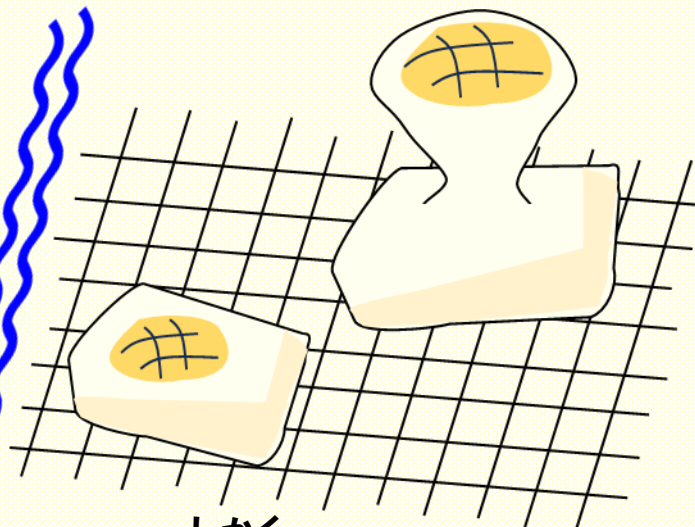
みわちゃん「^{としだま}もらった^{なに}お年玉で^か何か買った？」

かずくん「^{なに}まだだよ。何がいいかなあ」

^{ふたり}二人とも^{たの}楽しそうです。



まる
丸いおもち



しかく
四角いおもち



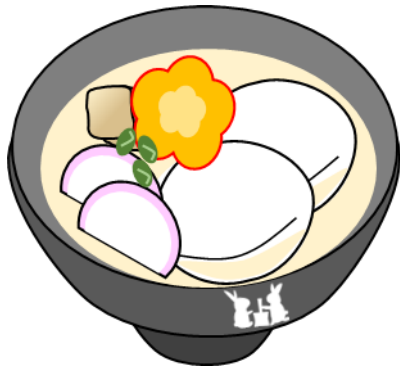
かずくん「おせちのほかに、お雑煮^{ぞうに た}も食べたよ」

みわちゃん「あたしも！ 丸^{まる}いおもちってかわいいよね」

かずくん「え？ うち^{しかく}は四角いおもちだったよ」

ふたり^{しょうがつ} 二人ともお正月にお雑煮^{ぞうに た}を食べましたが、何^{なに}か違^{ちが}うようです。

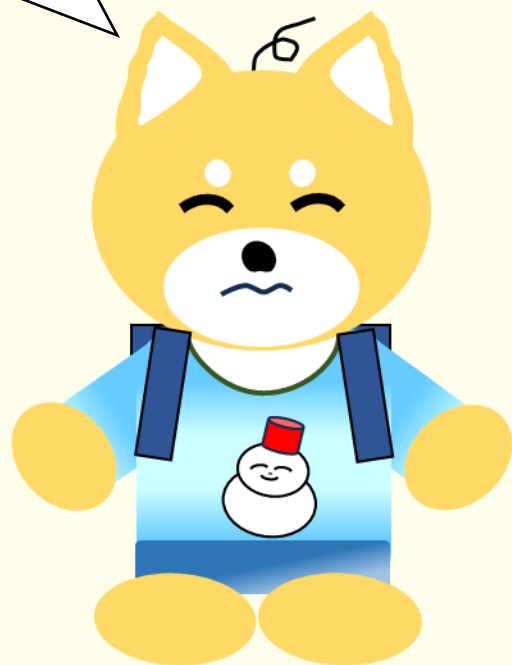
かずくんもみわちゃんもきょとんとしています。



しろ した
白みそ仕立て



とうめい じる
透明なすまし汁



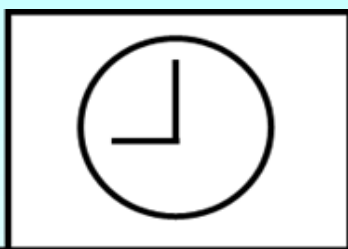
みわちゃん「かずくんのお家のおもちは四角いんだね。」

しろ する はい
白みそのお汁に入ってるおもち、おいしいよね」

かずくん「うちのお雑煮はしょうゆで味付けした

とうめい する かあ い
透明なお汁だよってお母さんが言ってたよ」

かたちいい ちが
おもちの形以外にも、違うところがあるようです。



りょうり うち ちが
みわちゃん「お料理ってお家ごとに違うんだよって

かあ おし
お母さんに教えてもらったことがあるけど・・・」

そうに ちが
かずくん「お雑煮だけでもこんなに違うんだね。

あした く たち き
明日来るおばあちゃん達に聞いてみる！」

ふたり そうに はなし がっこう つ
二人がお雑煮のお話をしているうちに、学校に着きました。



おじいちゃん「かずくん、あらためて、

あけましておめでとうございます」

かずくん「あけましておめでとうございます！」

おばあちゃん「かずくん^{としだま}にお年玉だよ」

かずくん「うわぁ、ありがとう！」



^{あつ} ^{とし} ^あ ^{はじ}
みんなが集まるのは年が明けてから初めてなので、

^{しょうがつりょうり} ^{ようい}
お正月料理も用意されました。

^{ぞうに} ^{うえ} ^{なら}
そしてお雑煮もテーブルの上に並んでいます。

^{はなし} ^{おも} ^だ
かずくんはみわちゃんとのお話を思い出し、

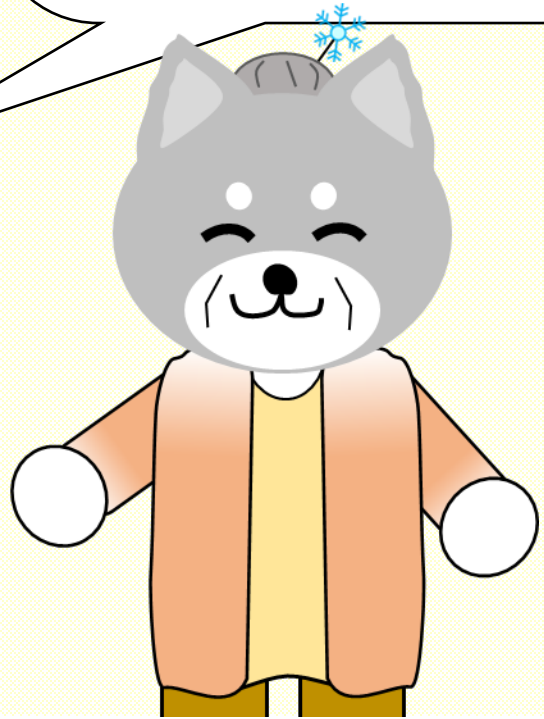
^き
おばあちゃんに聞いてみました。



みわちゃんの
 うち ぞうに
お家のお雑煮



かずくんの
 うち ぞうに
お家のお雑煮

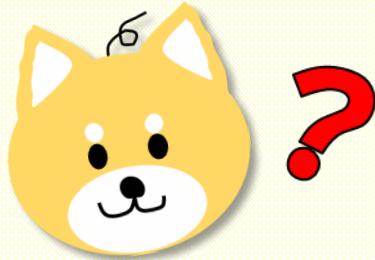


かずくん「ねえ、おばあちゃん。みわちゃんのお家のお雑煮は
 しろ しろ まる
 白みそのお汁に丸いおもちなんだって。

ちが はな
 うちとは違うねって話したんだよ」

おばあちゃん「そうだね。お雑煮もおもちも、ちいき ぞうに
 地域によって

いろいろあるんだよ。まずお雑煮のお話は ぞうに はな
 しようね」



そうに た
かずくん「お雑煮っていつから食べられているの？」

むろまちじだい さけ の
おばあちゃん「室町時代からみたいだね。お酒を飲むような

ぎょうじ とき さいしょ た そうに
行事の時に、最初に食べるのがお雑煮だったみたい」

しょうがつ た
かずくん「お正月に食べるんじゃないかったんだ」

しょうがつ そな
おばあちゃん「そのうちお正月にお供えしたおもちを、

やさい とりにく に こ た
野菜や鶏肉などと煮込んで食べるようになったそうだよ」

そうに れきし お雑煮の歴史

いま しょうがつ た ていばんりょうり ひと そうに しんねん
今ではお正月に食べる定番料理の一つであるお雑煮。新年
しあわ としがみさま そな
に幸せをもたらしてくれるという年神様にお供えしたおもち
やさい にく いっしょ に こ りょうり そうに
を、野菜や肉と一緒に煮込んだ料理がお雑煮です。

そうに はじ むろまちじだい ぎれいてき おこな うたげ
お雑煮の始まりは室町時代のころで、儀礼的に行われる宴
ば さけ の まえ た そうに
の場で、お酒を飲む前に食べられていたのがお雑煮です。お
さけ の まえ た い あんてい いま ぜんさい
酒を飲む前に食べることで胃が安定するので、今でいう前菜
やくわり
のような役割だったようです。

しょうがつ そうに た げん
いつごろからかお正月にもお雑煮を食べるようになり、現
さい そうに しょうがつ
在では「お雑煮といえばお正月」になりました。



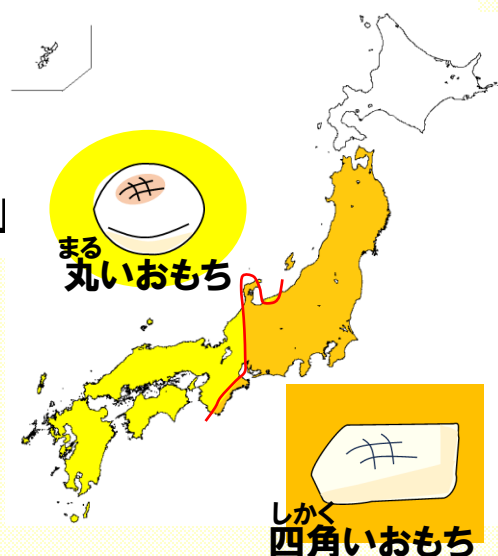
かずくん「お雑煮のおもちには丸も四角もあるんだね」

おじいちゃん「岐阜県の関ヶ原あたりを境にして、それより

東側は四角いおもち、西側では丸いおもちが

主に使われているみたいだね」

かずくん「でも、どっちもおいしいよね！」



東のおもちは四角く、西は丸い

岐阜県の関ヶ原付近を境目として、それより東側では四角いおもち（角もち、切りもち、のしもちなどと呼ばれます）が、西側では丸いおもち（丸もち）が一般的とされています。

おもちはもともとは丸い形だったのですが、江戸時代におもちを平たく伸ばして切り分けることで、効率的に運搬できるようになりました。こうして四角いおもちが江戸から少しずつ各地へ広まったという説があります。



あじつ ひがし にし ちが
かずくん「味付けも東と西で違うんだね」

とう かんとう じた とうめい じる
お父さん「関東はしょうゆ仕立て(透明なすまし汁)、

かんさい しろ じた おお
関西は白みそ仕立てが多いね」

かあ とうざい ちが いがい ぞうに ちいき
お母さん「東西の違い以外にも、お雑煮は地域によって

しゅるいいじょう い
いろいろあるよ。100種類以上もあると言われてるね」

かずくん「そんなにあるんだ！」

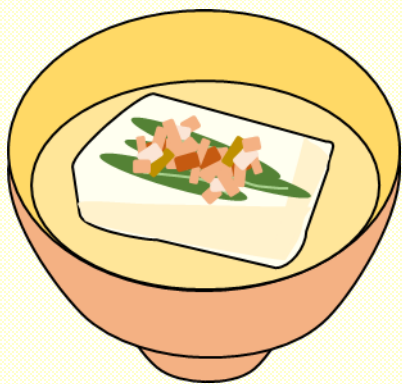
いろいろなお雑煮

つく かた ぐざい ちいき こと しゅうらく かず
作り方や具材がそれぞれの地域で異なるため、集落の数だ
けお雑煮の種類があるとも言われるほど、多種多様になった
ようです。地元の特産品を使うだけでなく、縁起を担ぐため
に使われる具材もあります。

ほっかいどう めいじじだい ぜんこく ひと あつ
北海道は明治時代に全国からたくさんの人が集まったので、
お雑煮も多くの種類が食べられるようになりました。また、
かごしまけん いちぶ ぞうに まる い ちいき
鹿児島県の一部では、お雑煮に丸いおもちを入れる地域と、
しかく い ちいき こんざい
四角いおもちを入れる地域が混在しているそうです。

さんこう のうりんすいさんしょうこうほうし のうりんすいさんしょう
参考：農林水産省広報誌aff (農林水産省Webサイトへ)

https://www.maff.go.jp/j/pr/aff/2001/spe2_02.html



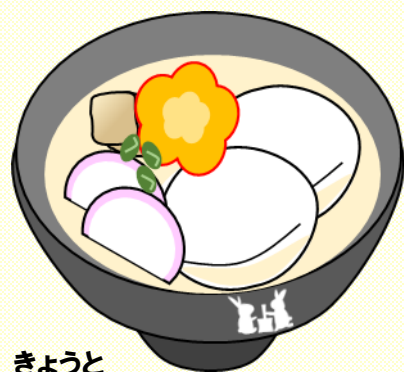
【名古屋】

おもち^やは焼かず、
かつお^にだしで煮る



とうきょう
【東京】

かつおと昆布^{こんぶ}のだし汁^{じる}に
焼いたおもち^や



きょうと
【京都】

かつおと昆布^{こんぶ}だしの
白^{しろ}みそ^じ仕立^たて



ちいき



ちが



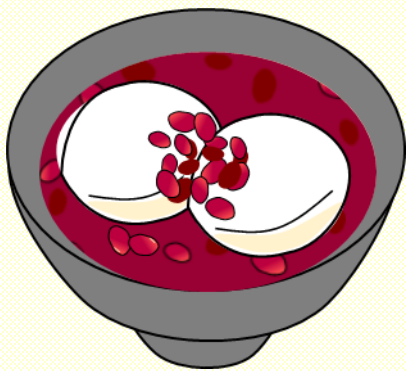
かずくん「地域^{ちいき}によっていろいろ違うんだね」

おばあちゃん「全^{ぜん}国^{こく}各^{かく}地^ちに郷土料理^{きょうどりょうり}はたくさんあるし、

日本^{にほん}はその土地^{とち}の特徴^{とくちょう}がよく出^でた料理^{りょうり}が多い^{おお}ね」

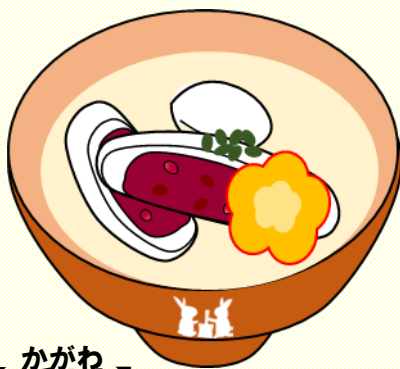
お父^{とう}さん「その地域^{ちいき}ならではの^{そうに}お雑煮^{おお}も多いね」

お母^{かあ}さん「お雑煮^{そうに}は甘^{あま}いものや具^ぐたくさんのものもあるよ」



とっとり
【鳥取】

あま あずき じる い
甘い小豆汁に入れた
ぜんざいに近いもの

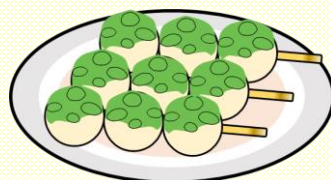


かがわ
【香川】

じる
いりこのだし汁で
あんこのおもちを煮る



こへい
五平もち



ずんだもち



つか きょうどりょうり
おじいちゃん「おもちを使った郷土料理もいろいろあるね」

ぜんぶ た
かずくん「いつか全部食べてみたいな！」

そうに りょうり まな
かずくんはお雑煮やおもちの料理について学びました。

つぎ あ おし おも
次にみわちゃんに会ったら教えてあげようと思いました。

かずくん「みわちゃんもびっくりするかな？」



かあ ぞうに あ
お母さん「かずくん、お雑煮ばかりだと飽きちゃうから、

ゆうしょく ちが た かた
夕食のおもちは違う食べ方にしようね」

おばあちゃん「どんなおもちが食べたい？」

かずくん「いそべ焼きがいいな！」

よる や
夜はみんなでおもちを焼くことになりそうです。



しゅうあ あさ いっしょ とうこう
週明けの朝、かずくんとみわちゃんと一緒に登校しています。

おそ はな
かずくんは教わったことをみわちゃんに話しました。

ちいき ちが
みわちゃん「地域でいろいろ違うんだね」

かずくん「おもしろいよね」

ふたり きょう えがお がっこう ある
二人は今日も笑顔で学校へ歩いていきます。



みわちゃん「^{すこ}もう少ししたら^{こんど}今度は^{せつぶん}節分だね」

かずくん「^{うち}ボクのお家で^{まめ}いっしょに豆まきできたらいいね」

みわちゃん「^{えほう}うん！^ま恵方巻きも^た食べたいな」

^{せつぶん}節分の^{おに}鬼の^{やく}役は、^{だれ}誰がやるのかな？

～おしまい～



農林水産省東海農政局

経営・事業支援部

食品企業課



令和7年1月